

## 8 その他、道教委の施策に関連した事業

## 1 事業のねらい

高等学校の生徒会役員を対象に実践的な話し合いの方法や課題解決の手法を体験し、リーダーとしての資質の向上や生徒会活動の活性化を図る

## 2 事業の概要

- 期日 R4.11.5(土)～6日(日) 一泊二日
- 対象 高等学校生徒会役員等とその引率者
- 人数 30名(高校生22名 引率8名)
- 場所 北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル砂川

## 3 プログラム

	9:00	12:00	13:00	13:30	16:00	17:30	18:30	20:30	
5日(土)		受付	12:30より	開会式	コミュニケーショントレーニング	講義「住民自治と生徒会」	夕食	演習①	入浴 就寝準備
6日(日)	起床 朝食 研修準備	演習②	昼食	演習③	ふりかえり 閉会式	15:30 解散			

## 4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 全員が参画しやすい演習
  - ・意見が出しやすくなる付箋紙を用いたKJ法を用い話し合いをし、パソコンがなくてもプレゼンテーションができるKP法(紙芝居プレゼンテーション)の技法で分担しながら準備と実践をした。
- 他校の生徒とのグループ
  - ・他校の生徒とのグループで演習することで、学校間の交流を図ることや、初対面同士でのコミュニケーションの実践の機会とした。



KJ法を用いた話し合い



KP法での  
プレゼンテーション

## 5 事業の評価

事前事後でのアンケートでとくに変化が見られたのは以下の項目  
(各質問6点満点で参加者全員の平均数値を記載)

質問項目	事前	事後	増減
6 メンバーに対して、受容的、肯定的な態度をとるように心がけている。	5.1	5.7	0.6
9 様々な情報源から情報を集め、それを活用することができる。	4.4	5.0	0.6
10 仕事をするとき順序だてや何をどうやって取り組んでいけばよいかを決めることができる。	4.5	5.2	0.7
12 相手と自分の意見が食い違った場合、相互に有益な妥協点を見出せる。	4.3	4.9	0.6
14 交渉相手の感情を逆なでせずに、合意に達することができる。	4.5	5.1	0.7
16 自分のことを理解してもらえるように話すことができる。	4.5	5.1	0.6

- 10 演習で限られた時間内にプレゼンテーションの準備ができたことで自信が持てたと考える。
- 14 コミュニケーショントレーニングでアサーション等を考え、演習で実践しながら合意形成ができたからと考える。

## 6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 演習①で紹介したKJ法が、演習②での話し合い活動にも生かされており、どのグループも分担しあいながらKP法でのプレゼンテーションが行われており、手法の習得になったと考える。
- コミュニケーショントレーニングで学んだことが、その後の活動で生かされており、リーダーとしての資質の向上が見られたと考える。
- 10校40名募集のところ7校30名での実施となった。事業の効果を多くの学校に広めるためには、広報や募集(生徒のみの参加を可にする等)の工夫が必要である。



### 企画のポイント

今後の生徒会活動に生かせる合意形成、プレゼンテーション等の手法を学び実践する。

# 親子で食育

## 1 事業のねらい

食事づくりや果物狩りなどの体験を通して、親子で食育に触れる機会とします。

## 2 事業の概要

- 期日 R4.10/1(土)～2日(日) 1泊2日
- 対象 幼児(年中)～小学3年生とその保護者
- 人数 5家族13名
- 場所 ネイパル深川
- 協力 株式会社ヤクルト北北海道(旭川) 藤谷果樹園(深川)

## 3 プログラム

	13:00		14:00		16:20		18:00		19:00		20:00		21:00		22:00	
10/1 (土)		受付	開 会 式	SD Gs	食育教室		①食育相談会 ②早寝早起き 朝ごはん	夕食	入浴	自由 時間	就寝					
	7:00		8:00		9:00		11:15		11:30							
10/2 (日)	起床	朝食	清掃 片付け	運動 タイム	りんご狩り りんご試食	閉 会 式	解散									

## 4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 規則正しい生活・腸内環境について学ぶ食育教室
  - ・株式会社ヤクルト北北海道に依頼し、食や健康についての講話乳製品を使用したクッキング 食育相談会を実施することで、食についての関心を高めるとともに、参加者同士が交流を行い、食に対する情報交換を図れるように工夫した。
- 旬の「食」に触れる体験活動
  - ・深川市の藤谷果樹園でりんご狩りを実施し、地域の特産品や旬の食べ物について、親子で直接触れることで、旬の食べ物の良さを味わえるように工夫した。

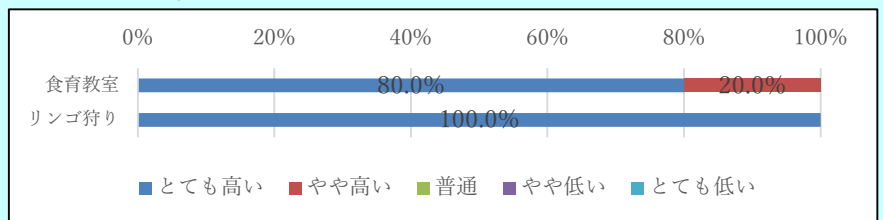


カルシウムが豊富なデザート作り



旬の「食」に触れる体験活動

## 5 事業の評価



- 食育教室では「有用な情報をいただきました。」という声があり、関心を高めることができた。
- 「りんご狩りを通してりんごのなる様子が知れてよかった」という声があるなど満足度が高い。

## 6 ねらいを踏まえた成果と課題

- アンケートでは、「体に良い食事に気を付けようと思った」などの声があったことから、食について改めて見つめなおす機会になったと考える。
- 食に関しての話を聞く機会を多く設定したが、今後は栄養素を考えたクッキングなど、幼児でも理解が深められるように内容を工夫したい



## 企画のポイント

親子で一緒に食に関する体験を行うことで、食べ物の大切さや食生活について改めて考える。

## ネイパル北見

### 青少年期の“リーダーシップ”を考える

# リーダーズカフェ

#### 1 事業のねらい

“リーダーシップ”を期待される中高生に、同年代との交流や活動を通じて、コミュニケーションの重要性やリーダーとしての資質を考える機会を提供し、今後の地域の担い手としての役割意識を醸成する。

#### 2 事業の概要

- 期日 R4.11.26(土)～27(日) 1泊2日
- 対象 中学生・高校生 及び引率者
- 人数 4校(生徒10名+引率4名)
- 場所 ネイパル北見
- 協力 オホーツク教育局

#### 3 プログラム

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
26日	晴 天			9:30-10:00 受付	受付	開 会 式	アイ ス プ レ	ワールド カフェ の試 行	昼食	ワールドカフェ (1) 「人生相談」	休 憩	演習(1) 「リーダーに必要な 能力スキルとは？」	休 憩	夕食	入浴	カフェトーク (自由テーマ)	就 寝 準 備	就 寝
27日	晴 天	起床 ・ 洗面	朝食	部 屋 点 検	レク リ エ ー シ ョ ン	ワールドカフェ (2) 「リーダーに必要な 能力スキルとは？」	昼食	ふりかえり	閉 会 式	解散 14:30								

#### 4 ねらいを達成するための活動の工夫

- ワールドカフェによる交流
  - ・ 円形の段ボール「えんたくん」を使い、ワールドカフェを行った。
  - ・ 一つのテーマにじっくり時間をかけることで、参加者間の交流促進やテーマの掘り下げができた。
- グループワーク以外の交流プログラム
  - ・ ニュースポーツ「キンボール」を行い参加者の交流を図った。
  - ・ 活動を転機として声掛けやコミュニケーションが飛躍的に向上した。

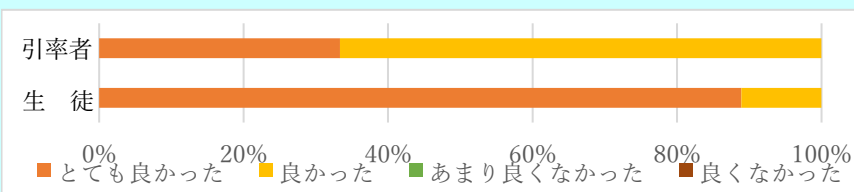


ワールドカフェによる交流



スポーツ交流

#### 5 事業の評価



- 参加者アンケートから、事業全体について、90%以上が肯定的な評価をした。
- スポーツ交流を行った後からコミュニケーションが促進され、意見交流が活発になったため、早い段階のスポーツ等の交流を設定することが効果的である。

#### 6 ねらいを踏まえた成果と課題

- オホーツク管内だけでなく、釧路管内、根室管内から参加者を得て交流の広がりが生まれた。
- 対面の交流プログラムにより、オンラインでは実現できなかった活動時間外の交流も実現できた。
- 静的なプログラムが多く、やや構成が単調であった。もう少し活動に変化を持たせる必要がある。



#### 企画のポイント

“リーダーシップ”について考えながら、意見を煮詰める手法を学ぶ。